

関連イベント

記念シンポジウム
「キュレーターたちが語る「芸術家たちの南仏」」
展示会を企画した4人のキュレーターたちによる講演会、討論会。
南仏の芸術の多様性を探ります。
登壇者：中村萌恵 (DIC 川村記念美術館学芸員)、藤原啓 (宇都宮美術館学芸員)、松岡佳世 (株式会社 キュレーターズ)、鈴木一生 (当館学芸員)
日時：10月7日 (土) 13:00～15:30 (休憩含む)
会場：ふくやま美術館 1階ホール
定員：100名 ※聴講無料、当日先着順

南仏オンラインツアー
「シャガールが愛したサン＝ポール・ド・ヴァンスを旅しよう」
南フランス、ニース近郊、シャガールが晩年を過ごしたサン＝ポール・ド・ヴァンスとふくやま美術館をリアルタイムでつなぎます。
南仏の光や風を直に感じよう！
講師：川本祐加里 (ニナジュール・トゥーリズム)
日時：11月25日 (土) 15:00～16:30
会場：ふくやま美術館 1階ホール
定員：100名 ※聴講無料、当日先着順

「学芸員によるギャラリートーク」
日時：10月15日 (日)、11月4日 (土) 各日 14:00～
会場：ふくやま美術館 1階企画展示室 ※特別展観覧券が必要、申込不要

「学芸員によるナイト・ミュージアム・ギャラリートーク」
日時：12月2日 (土) 17:00～
会場：ふくやま美術館 1階企画展示室 ※特別展観覧券が必要、申込不要

福山市スポーツ協会共催事業
「ナイト・ミュージアム de ピラティス」 **事前応募**
閉館後という特別な時間と空間で、ガイド付きの観覧の後、その余韻に浸りながらロビーでピラティスを体験します。
講師：荻部美千代 (株式会社オフィスプロスタジオ代表)
日時：11月11日 (土) 17:00～19:00
会場：ふくやま美術館 1階ロビー
定員：30名 ※先着順 参加費：1,500円 (観覧券つき)
応募期間：10月10日 (火)～11月2日 (木)
応募方法：市スポーツ協会教室等申込システムよりWeb申込
※お申込み詳細、お問い合わせは公益財団法人福山市スポーツ協会スポーツ推進課まで Tel. 084-927-9912

福山ニューキャッスルホテル フレンチレストラン ロジェとの限定コラボ
南仏のアートとワインのマリアージュを楽しむ夕べ **事前予約**
本展をより深く味わえるアート講座と、ワイン講座、ワインをペアリングした南仏料理がセットになった食事会です。
五感で旅する南フランスのディナーをお愉しくください。
日時：11月5日 (日) 18:00～20:30 (受付 17:30)
料金：12,000円
会場：福山ニューキャッスルホテル 1階「フレンチレストラン ロジェ」
定員：30名
※料金の中に展覧会観覧料を含みます。
※お申込み詳細・お問い合わせは福山ニューキャッスルホテルまで
Tel. 084-922-2140 (予約課)
受付時間 9:00～19:00



お問い合わせ・ワークショップ応募先
ふくやま美術館
〒720-0067 広島県福山市西町二丁目4番3号
Tel.084-932-2345 Fax.084-932-2347
Twitter・Instagram：@fukuyama_bi
交通案内
・JR福山駅福山城口(北口)から西へ400m
・山陽自動車道 福山東インターから車で20分
駐車場 68台
※特別展・所蔵品展を観覧で1時間無料

ワークショップ・短期実技講座A
「フランス額装 (アンカードルモン) — 私だけのお洒落な額づくり」 **事前応募**
マティスやシャガールのポストカードを使って、オリジナルの額装にチャレンジしよう。
フランス国家資格取得の講師から、本格的なフランス額装を学びます。
講師：向井理依子 (額装家、art d'encadrement 主宰)
日時：10月22日 (日) 13:00～16:00
会場：ふくやま美術館 2階工芸版画室
定員：10名 ※応募者多数の場合抽選
対象：高校生以上
受講料：3,500円
応募方法：往復はがきまたは市 HP 電子申請システム (9/1(金)～) に「イベント名」「郵便番号・住所」「名前」「電話番号」を記入し、ご応募ください。
※1通につき1名
募集締切：10月8日 (日) 必着

ワークショップ
「デカルコマニーで絵を描こう」
デカルコマニーは、シュルレアリストたちが好んだ、偶発的に転写されるイメージを楽しむ絵画手法。自由な形に切った紙にデカルコマニーを施すことにより、シュルレアリストたちの手法とマティスの切り紙絵を追体験しよう！
講師：大前勝信 (当館学芸課事業担当課長)
日時：10月28日 (土) 13:00～16:00
会場：ふくやま美術館 1階ロビー
参加費：100円
※事前応募不要

第62回ミュージアムコンサート
「広島交響楽団弦楽四重奏 — フランスの旅 —」 **事前応募**
本展出品作家が生きた19世紀末から20世紀初頭にフランスで生み出された曲をお届けします。また南仏の町を舞台にした曲など、展示会の世界を感じていただくコンサートです。
出演：岩下恵美 (ヴァイオリン)、高和雅 (ヴァイオリン)、青野亜紀乃 (ヴィオラ)、染谷春菜 (チェロ)
日時：11月18日 (土) 開場 18:00 開演 19:00
会場：ふくやま美術館 1階ロビー
定員：150名 ※先着順
参加費：一般 1,500円 高校生以下 500円
※開場から開演までの間に本展をご覧ください。
※未就学児入場不可
応募方法：往復はがきまたは市 HP 電子申請システム (9/18(月・祝)～) に「イベント名」代表者の「郵便番号・住所」「電話番号」「名前」「参加人数一般●人、高校生以下●人」を記入し、ご応募ください。

南仏料理フェア 10月1日(日)～12月10日(日)
本展に合わせた南仏料理のスペシャル・コース。前菜の「ニース風サラダとラタトゥイユ ミモザ仕立て」はマティスの切り紙絵がイメージされています。
料金：Aコース：6,600円 (広島熟成鶏プロヴァンス煮込み) Bコース：8,800円 (国産牛フィレ肉のステーキ)
会場：福山ニューキャッスルホテル 1階「フレンチレストラン ロジェ」
提供時間：昼 11:30～15:00 (オーダーストップ 14:00) 夜 17:00～21:30 (オーダーストップ 20:30)
※本展覧会チケット提示で5%割引
※本コースレシート提示で観覧券200円割引
ワインペアリング
上記コース料理に合わせた、南仏産のワインペアリング。スパークリングワイン、白ワイン2種、赤ワイン1種の計4種類をお楽しみいただけます。
料金：4,400円
会場：福山ニューキャッスルホテル 1階「フレンチレストラン ロジェ」
提供時間：昼 11:30～15:00 (オーダーストップ 14:00) 夜 17:00～21:30 (オーダーストップ 20:30)

同時開催
秋季所蔵品展「私と作者の「あいだ」— 作品からのメッセージ」
会期：2023年9月7日(木)～12月10日(日)
会場：2階常設展示室
次回特別展予告
「正宗十哲— 名刀匠正宗とその弟子たち—」
会期：2024年2月18日(日)～3月27日(水)



ビエール・ボナール《地中海の庭》(部分) 1917-18年 ボーラ美術館蔵

開館35周年記念特別展Ⅱ

芸術家たちの南仏
Rendez-vous dans le Midi

2023.10.7(土) — 12.10(日)

休 館 日：月曜日 ※10月9日(月・祝)は開館、10月10日(火)は休館
開館時間：9:30～17:00 ※12月1日(金)、2日(土)、8日(金)、9日(土)は19:00まで開館
会 場：ふくやま美術館 (広島県福山市西町二丁目4番3号)
観 覧 料：一般 1,000円 (800円) 高校生以下無料 ※()内は前売りまたは有料 20名以上の団体料金
※前売り券は、ふくやま美術館ミュージアムショップ、JR福山駅観光案内所、ローソンチケット[Lコード：61319]などで10月6日(金)まで販売。
前売り券販売所の詳細、観覧料の減免・割引はふくやま美術館ホームページで確認、またはふくやま美術館 (084-932-2345) にお問い合わせください。
主催：(公財)ふくやま芸術文化財団 ふくやま美術館、福山市 企画協力：株式会社 キュレーターズ
※会期中一部展示替えを行います。



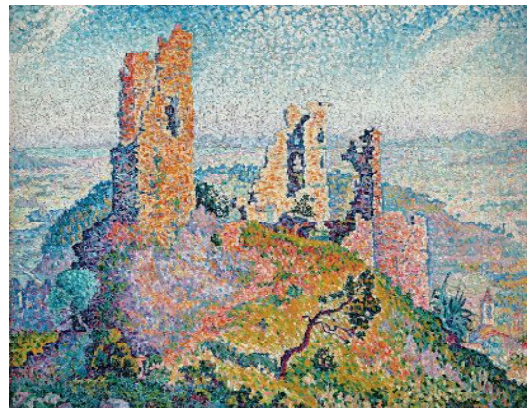
芸術家たちの南仏 ピカソ、マティス、シャガールたちの楽園と逃避

地中海に面し、豊かな自然や歴史に富んだ南フランスは、20世紀を代表する巨匠パブロ・ピカソやアンリ・マティス、マルク・シャガールなど、多くの芸術家を惹きつけました。20世紀初頭には、フォーヴィスムやキュビズムなど、後の美術を大きく変える前衛的な試みがこの地でなされました。また陶芸など、土地に根ざした伝統的な技法を用いる職人たちとの共同作業により、新たなジャンルに挑んだ者たちもありました。一方で、第二次世界大戦中には、敵性外国人として収容所に入れられた人々や、他国への亡命を目指して南仏の港に集まった者たちがいたことも忘れてはなりません。戦禍でこの地に留まらざるを得なかった芸術家たちは、それぞれの苦難と対峙しながらも、この無二の出会いを互いに印付けようとするかのように、共に制作に取り組みました。大戦後には、マティスのロザリオ礼拝堂など、終焉の地としてこの地に根を下ろした芸術家たちが、集大成ともいえる大仕事を手がけたことでも知られています。

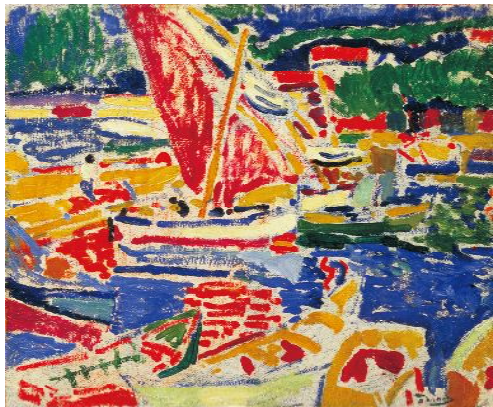
本展では、20世紀の南仏における芸術家たちの交流、またそのまばゆい光の下で生み出された表現や技法に着目し、約30作家の多彩な作品と映像や写真など様々な関連資料、およそ150点により、南仏で生み出された芸術の多様性を紹介します。

南仏の光

「黄金の輝く光」に惹きつけられた多様な芸術家たち



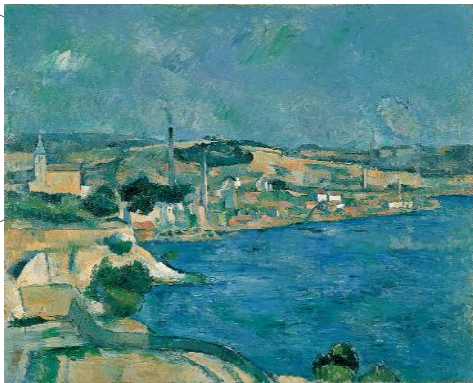
ポール・シニャック 《サン＝トロペ、グリモアの古城》1899年 静岡県立美術館蔵



アンドレ・ドラン 《コリウール港の小舟》1905年 大阪中之島美術館蔵



マルク・シャガール 《青い花瓶》1978年 ふくやま美術館蔵 ©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2023 Chagall® G3305



ポール・セザンヌ 《マルセイユ湾、レストック近郊のサンタンリ村を望む》1877-79年 吉野石膏コレクション蔵 (山形美術館に寄託)



ラウル・デュフィ 《モーツァルト》1915年 ユニマットグループ蔵

2

避難、あるいは収容 戦時下における不屈の芸術



ソニア・ドロローネー 《色彩のリズム》1953年 ふくやま美術館蔵

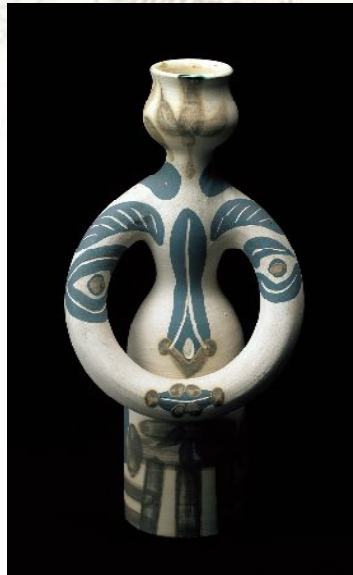


ジャン・アルプ 《地中海群像》1941/1965年 東京国立近代美術館蔵 ©VG BILD KUNST, Bonn & JASPAR, Tokyo, 2023 G3305

3

南仏での展開

多様化するメディア：ピカソの陶芸、マティスの切り紙絵、シャガールのタピスリー……



パブロ・ピカソ 《女のランプ》1955年 Kanzan gallery 蔵 ©2023-Succession Pablo Picasso-BCF (JAPAN)



アンリ・マティス 《ピエロの埋葬》(「ジャズ」より) 1947年刊 宇都宮美術館蔵 ※展示替あり



アンリ・マティス 《ミモザ》(タピスリー) 1951年 池田20世紀美術館蔵



マルク・シャガール 《天使の湾》(タピスリー) 2003年 個人蔵 ©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2023, Chagall® G3305

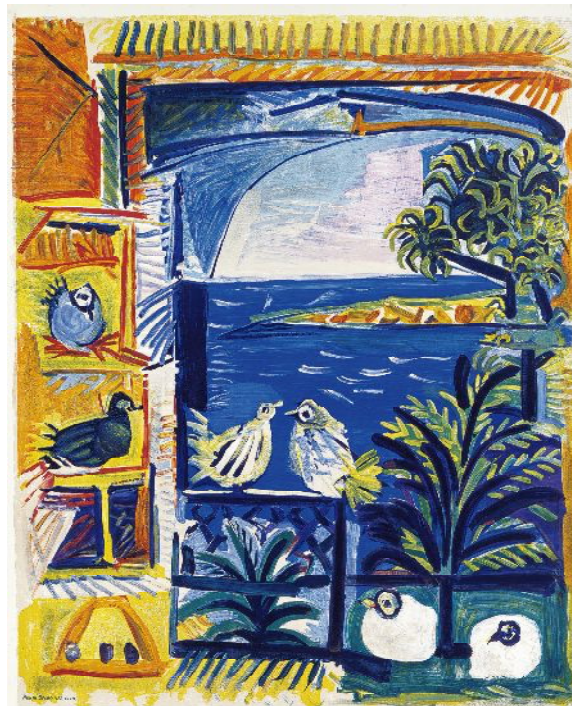
モダン・アートが南仏に遺したもの

巨匠たちの遺産：ピカソ「平和の殿堂」、マティス「ロザリオ礼拝堂」、シャガール「聖書のメッセージ」連作

4



マルク・シャガール 《ダヴィデ王の夢》1966年 DIC 川村記念美術館蔵 ©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2023, Chagall® G3305



パブロ・ピカソ 《コート・ダジュールの宣伝用にフランス政府観光局のために制作されたポスター》1962年 彫刻の森美術館 (公益財団法人 彫刻の森芸術文化財団) 蔵 ©2023-Succession Pablo Picasso-BCF (JAPAN)